

風水害時の避難について

【はじめに】

◇近年、国内各地で台風や大雨による大規模な災害が起こっています。
自分の命は自分で守るための「備え」や「行動」が重要です。「自分だけは大丈夫」、
「過去に浸水したことがないから大丈夫」などと過信せず、命を守る避難行動や情報の
入手の方法等を確認しておきましょう。

◇刻々と状況は、変化します。

警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された場合

避難に時間のかかる方は避難、それ以外の方も外出を控えたり、避難の準備を開始
しましょう。

警戒レベル4「避難指示」が発令された場合

危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル5「緊急安全確保」が発令された場合

命が危険な状態です。直ちに安全確保をしましょう。
命を守るため、より安全な場所への移動しましょう。



地域の災害リスクを知る

洪水ハザードマップの対象河川

対象河川	想定規模	想定雨量
天竜川	想定しうる最大規模 (1000年に1回程度)	天竜川流域48時間雨量 526.0mm
太田川水系 【太田川・原野谷川 敷地川・ぼろ僧川 今ノ浦川・宇刈川】		太田川流域24時間雨量 629.5mm ぼろ僧川流域24時間雨量 756.0mm

洪水ハザードマップの作成方法

◇浸水想定区域は、対象河川ごとに複数の破堤地点を想定し、各破堤点の最大浸水深を重ねあわせています。そのため、1箇所の破堤で全域が浸水するものではありません。



磐田市洪水ハザードマップ

◇自分たちの住む地域には、どのような災害の発生危険があるのでしょうか。水害・土砂災害から身を守るには、まず地域の災害リスクを知ることが大切です。

浸水深の目安

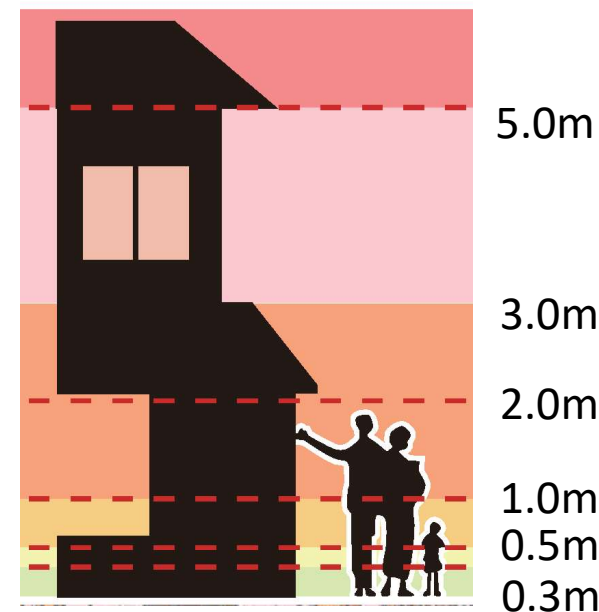
浸水深 5.0mでは、一般的な家屋の2階が水没

浸水深 3.0mでは、一般的な家屋の2階の床下高。これを超えると2階でも危険

浸水深 0.5mでは、一般的な家屋の1階の床高。これを超えると床上浸水

◇市内の主な施設の浸水深は次のとおりです。

施設名(所在地)	浸水深(m)	
	天竜川	太田川水系
豊岡総合センター体育館(壱貫地)	3.0~5.0	—
岩田小学校(勾坂中)	5.0~10.0	—
豊田北部小学校・豊田中学校(加茂)	3.0~5.0	—
竜洋西小学校(川袋)	1.0~3.0	—
磐田南小学校(千手堂)	1.0~3.0	0.3未満
東部小学校(東貝塚)	1.0~3.0	1.0~3.0
田原小学校(三ヶ野)	—	1.0~3.0
福田小学校(下太)	3.0~5.0	1.0~3.0



浸水深の目安

土砂災害

◇集中豪雨や長雨などで地盤がゆるむと、土砂災害(土石流や地すべり、がけ崩れ)が発生します。

①土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと流される現象。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



土石流

②地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。



地すべり

③急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

急傾斜地(傾斜の角度が30度以上で高さが5m以上のもの)で、雨水が地面に浸透し、突然、崩れ落ちる現象。地震で発生することもあります。



がけ崩れ

※土砂災害と水害の比較

土砂災害	水害(河川の氾濫)
<ul style="list-style-type: none"> ○局地的に被害が発生 ○土砂などが高速で移動するため、家屋の破壊が生じ、人的被害が発生しやすい。 ○降雨を起因として突発的に発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較的広域に被害が発生 ○破堤による氾濫の場合は家屋の破壊を生じるが、小川や水路の水があふれた場合では家屋の浸水が大半 ○水位の上昇に伴い、徐々に浸水域、浸水深が増加

土砂災害(特別)警戒区域

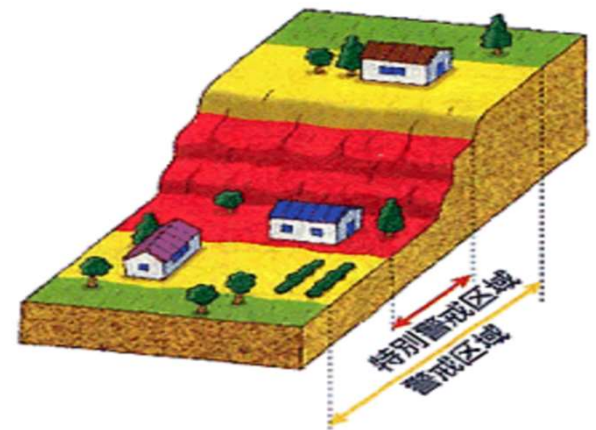
◇土砂災害のおそれがある区域では、静岡県が「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

①土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、居住者等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあり、警戒避難体制を特に整備すべき区域

②土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ居住者等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあり、一定の開発行為の制限及び建築物の構造の規制をすべき区域



◇市内では、豊岡地区の山間地、磐田原台地東西の斜面周辺のほか、大藤、見付、御厨の地区にも指定された地域があり、自治会の数では60か所になります。

市内の土砂災害(特別)警戒区域指定状況 (令和5年3月31日現在)

土砂災害警戒区域				土砂災害特別警戒区域			
土石流	地すべり	急傾斜地の崩壊	計	土石流	地すべり	急傾斜地の崩壊	計
94	—	256	350	64	—	255	319

あなたの住む地域の災害リスクを知る(ホームページ)

◇「磐田市ホームページ」から磐田市洪水ハザードマップ、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域などを確認できます。(http://www.city.iwata.shizuoka.jp/)

- ①トップ画面の「防災・安全」-「防災」をクリックします。
- ②次に、「磐田市ハザードマップ」をクリックします。
- ③画面に表示された次のリンク先ホームページから、「住所検索」で確認できます。

磐田市ホームページ



重ねるハザードマップ



- ◇ハザードマップポータルサイト
重ねるハザードマップ
・洪水 ・土砂災害 ・津波

重ねるハザードマップ【国交省】

災害リスク情報や防災に役立つ情報を見ることができるWeb地図サイトになります。

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

磐田市加茂243

② 見たい場所を入力して検索

使い方 利用規約 ホーム

選択中の情報

① 見たい災害種別を選ぶ

災害種別で選択

洪水 土砂災害 高潮

(想定最大規模) (想定最大規模)

津波 道路防災情報 地形分類

(想定最大規模)

視前データに関する留意事項

すべての情報から選択

選択情報のリセット

指定緊急避難場所

崖崩れ、土石流及び地滑り 解説 凡例

表示 指定緊急避難場所

洪水 解説 凡例

表示 災害リスク情報>土砂災害警戒区

急傾斜地の崩壊 (黄は警戒区域、赤は特別警戒区域) 解説 凡例

表示 災害リスク情報>土砂災害警戒区 解説

洪水によって想定される浸水深: 3.0m ~ 5.0m

③ 詳細を確認したい場所をクリック

④ 避難場所を確認

⑤ 凡例を確認

⑥ 「リスク検索」をクリックするとその地点の災害リスクが表示される

標高: 9.2m (データソース: DEM5A)

CAPS KANA

避難に関する情報と取るべき行動

R3.5変更

警戒レベルとは、災害発生のおそれの高まりに応じて居住者等がとるべき行動と、その行動を促す防災気象情報とを関連付けるもので、5段階に区分しています。

警戒レベル	状況	取るべき行動	避難情報等
警戒レベル5	▷ 災害発生又は切迫	▷ 命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保 (市町村が発令)
～ 警戒レベル4までに必ず避難 ～			
警戒レベル4 [全員避難]	▷ 災害のおそれ高い	▷ 危険な場所から全員避難 (立退き避難又は屋内安全確保)	避難指示 (市町村が発令)
警戒レベル3 [高齢者等は避難]	▷ 災害のおそれあり	▷ 危険な場所から高齢者等は避難 (立退き避難又は屋内安全確保) その他の人は、避難の準備	高齢者等避難 (市町村が発令)
警戒レベル2	▷ 気象状況悪化	▷ 自らの避難行動を確認	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	▷ 今後気象状況の悪化のおそれ	▷ 災害の心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)

取るべき行動

避難情報の種類	居住者等に求める行動
<p>【警戒レベル3】 高齢者等避難</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難に時間のかかる要配慮者(高齢の方、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難を開始する。 ・その他の人も必要に応じ、出勤等の外出を控えるなど普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備を整えるとともに、その後の防災気象情報に注意し、自発的な避難に備える。
<p>【警戒レベル4】 避難指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所から全員避難する。 ・「立退き避難」を基本とし、洪水や土砂災害等に対して、ハザードマップ等により屋内の身の安全を確保できるか確認したうえで自らの判断で「屋内安全確保」※1をする。
<p>【警戒レベル5】 緊急安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・命の危険性があることから、直ちに「緊急安全確保」※2をとる。

※1 **屋内安全確保**:自宅・施設等の浸水しない上階に避難(垂直避難)、上階に留まる(退避)

以下の条件を満たしていることが必要

- ①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ②浸水深より居室は高い
- ③水がひくまで我慢できるか、水・食料などの備えは十分

※2 **緊急安全確保**:その時点に居る建物内において、より安全な部屋等への移動

避難行動とは・・・

◇「避難行動」は、数分から数時間後に起こるかもしれない自然災害から「命を守るための行動」です。

◇命を守るための避難行動とは・・・

- ①緊急避難場所や安全な親戚・知人宅への立退き避難
- ②「屋内安全確保」(浸水しない安全な上階への避難)
- ③「緊急安全確保」(その時点に居る建物内において、より安全な部屋等への移動)
 - ・洪水等の場合・・・屋内の高いところや場合によっては屋上への移動
 - ・土砂災害の場合・・・屋内の高いところで山からできるだけ離れた部屋等への移動



安全確保(例)

緊急避難場所と避難所の違い

◇「緊急避難場所」とは、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所をいいます。

◇これに対して「避難所」とは、災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所をいいます。

◇したがって、「緊急避難場所」は被害が発生する前に、「避難所」は災害の発生後に避難する場所になります。

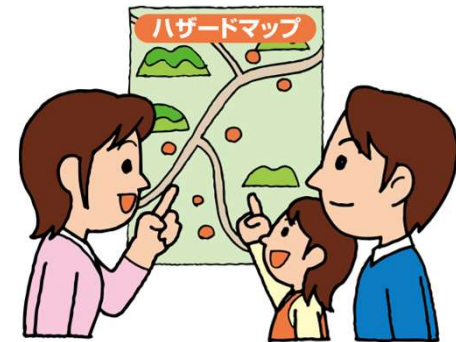


避難所の様子／東日本大震災(2011.3)
岩手県釜石市 旧釜石第一中学校

避難の際の心得

【適切に避難するためには・・・】

- ◇いざという時の避難に備え、避難先とルートを家族や地域で確認しておきましょう。
- ◇避難情報が発令されていない場合でも、気象情報に注意して早めの対応を心がけましょう。
- ◇立退き避難が危険な場合、無理に屋外に避難せず、建物の上の階へ避難すること(垂直避難)も有効です。
- ◇一人では避難できない高齢者や乳幼児を避難させるには時間がかかります。早い段階から立退き避難などの避難行動が必要です。



**避難とは難を避けること、安全を確保することです。
安全な場所にいる人は避難する必要はありません。**

【非常持出品の準備を・・・】

- ◇避難場所には、最低限必要な身の周りの物を持って避難していただくようお願いします。
- ◇例えば、台風の接近に伴って、午後、避難場所へ避難した場合は、翌朝まで滞在する可能性があります。
- ◇必要な持ち出し品は・・・
 - ・水や食料(おにぎりなど)
 - ・懐中電灯
 - ・スリッパ(室内用履物)
 - ・ラジオなど情報を得るもの
 - ・毛布など簡易な寝具
 - ・マスク・アルコール消毒液・体温計 など



大雨・土砂災害に関連する情報を知る

防災気象情報

◇気象庁では、住民の安全確保行動の判断を支援するため、気象災害の発生のおそれがある場合、気象警報・注意報や気象情報などの防災気象情報を発表しています。

雨が強くなると…

大雨注意報

・最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備をしましょう！



大雨が降り続けると…

大雨警報

・市が発令する避難情報に注意し、必要に応じて速やかに避難しましょう！



さらに激しい大雨が降り続けると…

大雨特別警報

【記録的短時間大雨情報】

大雨警報発表中に、土砂災害や浸水、中小河川の洪水につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせる情報です。

・市の避難情報に従い、すぐに避難を開始しましょう！



◆「特別警報」は、警報基準をはるかに超える豪雨が予想され、重大な災害の危険性が高まっている場合に発表するもので、その一つである「大雨特別警報」は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合などに発表します。(平成25年8月運用開始)

河川水位情報

- ◇天竜川、太田川水系(太田川、原野谷川、敷地川、仿僧川、今ノ浦川、宇刈川)の7河川では、水位による監視体制をとっています。
- ◇河川の水位情報と居住者等に求める行動は、次のとおりです。



観測所ごとの基準水位

河川ごとにあらかじめ定められた水位に基づき避難情報を発令します。

河川名	水位 観測所	氾濫注意 水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位
天竜川 (下流)	鹿島	3.50m	5.60m	6.00m
	中ノ町	1.60m	3.10m	3.40m
太田川	新貝	3.50m	4.30m	4.60m
原野谷川	山名	5.70m	6.50m	7.00m
敷地川	笠梅橋	4.40m	5.40m	5.84m
仿僧川	鮫島橋	2.50m	3.20m	3.40m
今ノ浦川	今之浦橋	2.50m	3.20m	3.60m
宇刈川	横手橋	2.70m	2.80m	3.20m

土砂災害警戒情報

◇土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、対象となる市町村を特定して県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

◇土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域(メッシュ)ごとに2時間先の予測値を5段階に色分けして表示する情報で、気象庁が発表するものです。(気象庁ホームページ)

また、静岡県でも同様に土砂災害警戒情報を補足する情報を発表しています。

(<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/> 静岡県砂防課ホームページ)

色が持つ意味	住民等の行動の例	発令の目安となる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫(黒)	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する 極めて危険 な状況。この状況になる前に少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。	緊急安全確保	5相当
危険(紫)	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険 な状況。速やかに少しでも安全な場所への避難を開始する。	避難指示	4相当
警戒(赤)	避難の準備が整い次第、少しでも安全な場所への避難を開始。高齢者等は速やかに避難を開始する。	高齢者等避難	3相当
注意(黄)	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	— 15

情報の収集方法を知る

- ◇避難情報は同報無線でお知らせしますが、災害の発生に備えて各自で情報収集することが、適切な避難行動をとるための第一歩です。
- ◇次の方法で情報を把握し、避難行動につなげてください。

メール配信「いわたホットメール」

携帯電話やスマートフォンなどのメール機能を利用して、気象警報や避難情報を配信するサービスです。同報無線の放送内容を文字で確認できるため、聞き逃し、聞き漏らしなどがなくなり、情報を正確に把握することができます。



QRコード

テレビのデータ放送(dボタン)

データ放送は、天気やニュース、防災情報、避難情報などを見ることができ、常に最新の情報が提供されます。例えば、NHKにチャンネルを合わせて「dボタン」を押した場合、次の操作で情報を得ることができます。

- ①リモコンの「赤ボタン」を押して、気象情報を表示させます。
- ②次に、リモコンの上下ボタンで「安全・安心ポータル」を選択します。
- ③1時間ごとの天気や河川水位などの情報を見ることができます。



市ホームページ防災リンク集

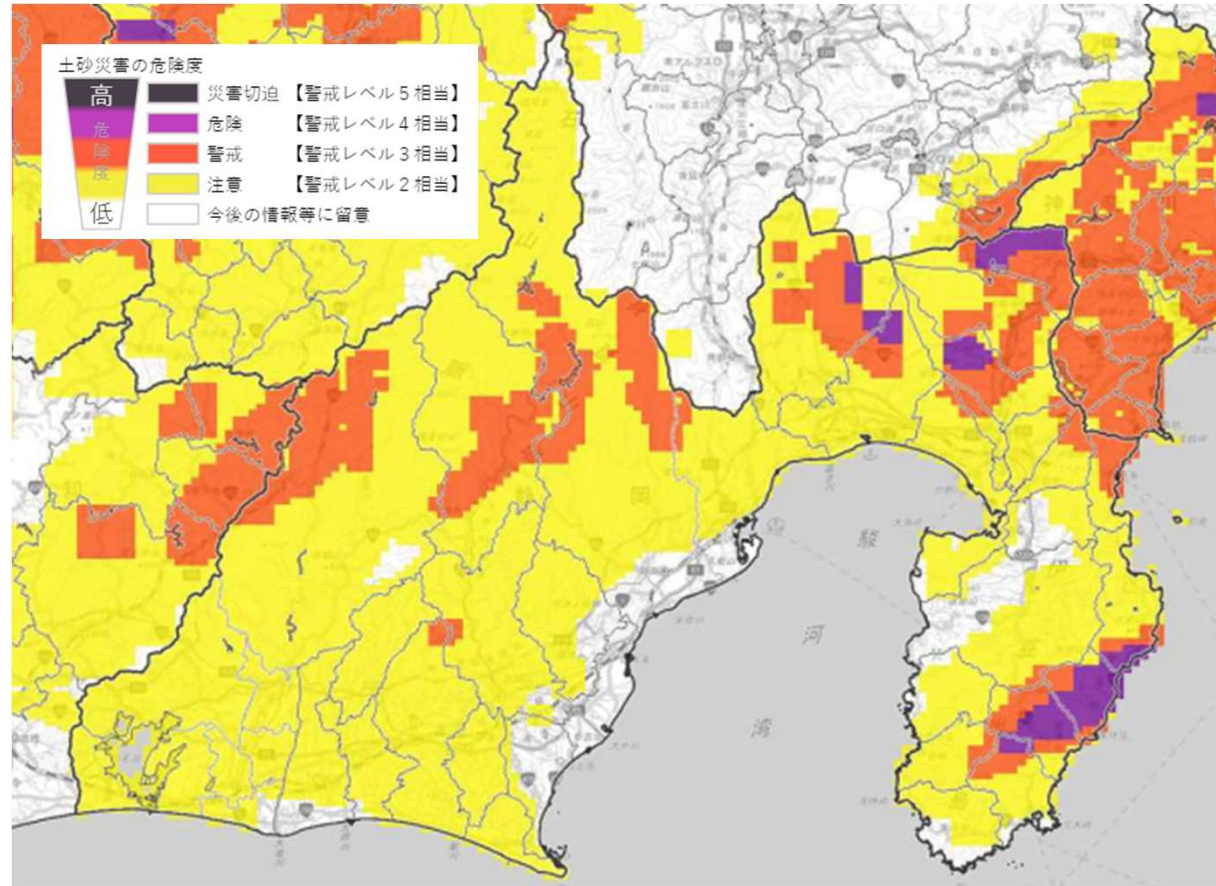
市内の河川情報や雨量情報、気象庁、県や国のホームページのリンク集です。

サイポスレーダー

県が運営する「サイポスレーダー」では、雨量・水位情報をリアルタイムで提供しています。



気象庁「キキクル」



大雨による、浸水、洪水、土砂災害の危険性を5段階に色分けして地図上に表示するシステムです。危険度の判定には3時間先までの予想雨量予測値を使用し、危険度の高まりを事前に確認することができます。

台風が接近している時の事前避難場所

【発令基準】

- ①現に台風が接近し、市内に被害が発生する危険性がある場合
- ②市内が暴風域に入る時間帯が夜間になる場合

【避難情報】

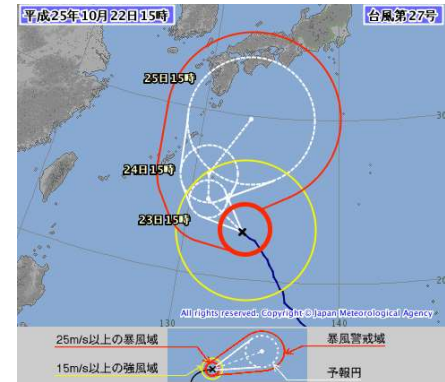
高齢者等の早期避難と市民への注意喚起を目的として「高齢者等避難」を発令

【避難対象地区】

原則として、市内全域

【避難場所】

下表の「拠点避難場所」(11箇所)を開設



【解除基準】

台風の通過によって風雨が収まったとき

No.	拠点避難場所	避難対象地区	No.	拠点避難場所	避難対象地区
1	見付交流センター	見付地区	6	福田中央交流センター	福田地区、福田西部地区、福田北部地区
2	ワークピア磐田	中泉地区、今之浦地区	7	福田中学校	福田南地区
3	向陽中学校	大藤地区、向笠地区、岩田地区	8	豊浜小学校	豊浜地区
4	神明中学校	西貝地区、御厨地区、南御厨地区、田原地区	9	竜洋中学校	竜洋地区
			10	豊田南中学校	豊田地区
5	南部中学校	天竜地区、長野地区、於保地区	11	豊岡中学校	豊岡地区

河川氾濫の危険性がある時の避難場所

【対象河川】

天竜川、太田川、原野谷川、敷地川、仿僧川、今ノ浦川、宇刈川の7河川

【発令基準と避難情報】

7河川の水位情報をもとにして、避難情報を発令

【避難対象地区】

天竜川と太田川水系の浸水想定区域をもとに自治会単位で選定

【避難場所】

避難対象地区ごとに最大33箇所の避難場所を開設

【解除基準】

- ・水位が避難判断水位を下回り、上流域での降雨が減少したとき
- ・浸水が発生した場合は、河川からの氾濫がなくなったとき

土砂災害が発生するおそれがある時の避難場所

【発令基準と避難情報】

- ・磐田市に土砂災害警戒情報が発表
- ・土砂災害発生危険度に応じて避難情報を発令

地区を限定し、発令します

【避難場所】

- ・土砂災害警戒区域に指定された地域の公会堂を開設
- ・公会堂が警戒区域内にある場合は最寄りの指定避難場所を開設

【解除基準】

土砂災害警戒情報が解除された段階で市内一斉に実施

テレビ速報テロップのイメージ

土砂災害警戒情報が発表されました。
【警戒対象地域】
A市、B市、C町



土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

色(危険度)	発令の日安とする避難情報
黒(災害切迫)	緊急安全確保
紫(危険)	避難指示
赤色(警戒)	高齢者等避難
黄色(注意)	—
無色 (今後の情報に留意)	—

土砂災害時における避難場所

区分	地区	自治会名	指定避難場所名
豊岡北	北	神田・栗下・本村・田川・亀井戸・大楽地・合代島上・合代島下	豊岡中学校
豊岡東	東	敷南区・敷上区・大平南・大平北・虫生・万瀬	
豊岡南	南	上神増・社山・神増・惣兵衛・平松・掛下	豊岡南小学校 ※4
磐田原台地西	富岡	富里・匂坂下・気賀東・加茂東	豊田北部小学校・豊田中学校
磐田原台地西	豊田東	富丘広野・富丘下原・富丘原新田	豊田東小学校
磐田原台地西	中泉	京見塚・西新町	磐田西小学校
	井通	一言北原	
見付	見付	加茂川通・権現町・東大久保・富士見町・東坂町・住吉町・二番町・幸町・美登里町・元宮町	見付交流センター (磐田北小学校) ※5
磐田原台地西	岩田	寺谷新田	岩田小学校 ※6
磐田原台地西	岩田	寺谷坊上	
磐田原台地西	岩田	寺谷坊下	
磐田原台地西	岩田	匂坂上	
磐田原台地西	岩田	匂坂中上	
磐田原台地西	岩田	匂坂中下	
磐田原台地西	岩田	匂坂新	
大藤	大藤	大藤第2区・4区・6区・13区	
磐田原台地東	向笠	笠梅・向笠竹之内・向笠西・篠原・岩井	向笠小学校
磐田原台地東	御厨	新貝	神明中学校
磐田原台地東	田原	三ヶ野・明ヶ島・東部台	田原小学校

- ※1 地区ごとに避難場所を記載していますが、どこの避難場所に避難していただいてもかまいません。
- ※2 現指定避難場所となっている自治会公会堂は、引続き「共助」としての開設にご協力をお願いします。
- ※3 高台の車中避難場所等の確保を進めています。(城山球場駐車場、見付駐車場、下野部工業団地(調整中))
- ※4 豊岡南小学校の体育館は土砂災害の警戒区域のため、校舎への避難とする方向で調整中です。
- ※5 見付交流センターを優先的に開設し、状況に応じて磐田北小学校を開設します。
- ※6 天竜川洪水ハザードマップの想定浸水深(最大規模)は5m以上のため、洪水時は岩田小学校の3階も浸水する可能性があるため、別の避難場所を指示する可能性があります。